

2019年度 物質・デバイス領域共同研究拠点事業『新型太陽電池並びに清浄環境の新展開～次世代デバイス・システムの展望』研究会（電子研学術講演会）プログラムのご案内

日時：2019年7月5日(金) 13時30分～17時00分

場所：電子科学研究所 1F セミナー室 1-2

2019年度の物質・デバイス領域共同研究拠点事業下で現在遂行中の次世代デバイス・システム、特に高効率太陽電池及びその作製プラットフォームとしての高清浄環境のR&Dの最近の成果を基に今後の展望を広く深く議論します。

13:30～13:35 開会の挨拶と本研究会の狙いについて 石橋 晃 北海道大学 電子科学研究所

13:35～14:00 松岡 隆志 東北大学 未来科学技術共同研究センター (発表20分, 質疑応答5分)
『Inを含む窒化物半導体研究に関する最近の展開 ～全組成域成長の可能性は?～』

14:00～14:25 久保 耕司 帝人株式会社 フィルム事業本部 (発表20分, 質疑応答5分)
『フィルム塗装の展開状況』

14:25～14:50 榎本 良治 東京大学 宇宙線研究所 (発表20分, 質疑応答5分)
『ガンマアイ検出器の開発状況』

14:50～15:15 石橋 晃 北海道大学 電子科学研究所 (発表20分, 質疑応答5分)
『フォトンフォトキャリア直交型太陽電池の進捗と清浄環境CUSPの展開』

15:15～15:40 安武 正弘 日本医科大学 (発表20分, 質疑応答5分)
『新型高清浄環境技術CUSPの医療応用に向けて：睡眠・代謝分析への応用を中心に』

15:40～16:05 松田 順治 飛栄建設株式会社 (発表20分, 質疑応答5分)
『CUSPの居住空間、キノコ栽培への展開の可能性』